

臨床研修医へのメッセージ

水戸総合病院 研修医

園部 崇

2004 年度より新しい臨床研修制度となりいまだ 3 年弱、臨床研修医・臨床研修指定病院双方とも手探りの日々ではないでしょうか。私が研修している当院は病床数 200 強と研修病院としては決して大きくはありませんが、ひたちなか市唯一の総合病院として地域医療の中核を担っています。特に茨城県県央から県北にかけては医師数(人口比)が少なく、その分当院でも研修医の果たす役割は大きいと感じています。当院での初期研修を行う利点は各科の垣根が低く小回りが利く、専門性にとらわれず幅広くありふれた疾患(common disease)を見ることができる、自身の希望や将来の専門科目に応じて柔軟に研修プログラムを組み立てられるなどがあると思います。また内科研修では検査計画や治療方針も自主的に研修医が組むことができるため患者さまに対する責務も重いものですが、その分医師としてのやりがいを感じることができ、一人の医師として自立心を養うことができるのではないのでしょうか。当院では臨床医として基礎を築き、懐を広げ、将来につながる研修が可能です。ぜひ一度足を運んでいただき当院の研修状況を目の当たりにしていただければと思います。